

# 総合的な学習の時間 全体計画

福山市立大谷谷小学校

・日本国憲法  
・教育基本法  
・学校教育法  
・学習指導要領  
・広島県の重点施策  
・福山市学校教育ビジョン

<学校教育目標>  
人間性豊かに生き抜く児童の育成  
筋道だった考え方をもち、創造性豊かに粘り強くやりぬく子  
持続力のある体力を持ち、気力に満ちた子  
自分をみんなを思いやり、大事にする子

<総合的な学習の時間の目標>  
横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身につけ、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

<地域の実態>  
福山市の東端、岡山県との県境に隣接した位置にある新興住宅地である。核家族化が顕著な地域であるがゆえに、地域としての結束力の高揚が望まれる。  
山を切り開いて設立された学校だけに自然環境に恵まれ、校舎の裏手には未開発の山林があり、眼下に住宅団地が一望できる立地条件にある。  
NKKを中核とする備後工業の発展に伴い、急激に開発された住宅団地であり、世帯主の年齢の幅が狭いため近年児童数の自然減少が続いている。  
住民はJFEおよびその関連企業に勤務する人が多く、本校に学ぶ児童は、全国各地からの出身者によって構成された平均的サラリーマン家庭の子どもがほとんどである。

研究主題  
生き生きと、楽しく表現できる子どもの育成  
外国語活動・英語活動を通してー

<各教科等との関連>  
<生活科>  
(1学年)「生活を見つめよう」  
全体で身近な事柄・現象に働きかけ、主に生活を見つめることにより、自分の生活をよりよいものにしていく。  
(2学年)「生活をつくらう」  
全体で身近な事柄・現象に積極的に働きかけ、主に生活をつくることにより、自分の生活をよりよいものにしていく。  
<国語>  
適切に表現し、正確に理解する能力を育てる。思考力や創造力及び言語感覚を養う。  
<社会>  
社会生活の理解を図り、わが国の国土と歴史に対する理解と愛情を育て、国際社会に生きる民主的、平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

<児童の実態>  
与えられたもの、限られた場所の中での学習や生活に慣れ親しんでいるため、創意工夫する力や自ら主体的に学び、生活する力の育成が望まれる。  
仲のよい友だちに対してはかかわり合うことはできるが、誰とも協調しつつ自律的にかかわり合うためのコミュニケーション能力の育成が望まれる。  
教科学習では時間的・空間的な制約のため、言語的なかかわり合いは比較的に見られるものの、身体的・体験的なかかわり合いは極めて薄い。時間的・空間的な制約をできるだけ排除できる総合的な学習の時間に期待するところは大きい。

<本校が定める総合的な学習の時間の目標>  
地域や日本や外国の伝統や文化を調べたり、比較したりしながら、地域やそれぞれの国のよさや共通性を発見する探究的な学習を通して、自ら課題を見つけ、よりよく問題を解決する資質や能力を育成し、意欲的に必要な情報を収集・整理・分析・活用・発信する方法を身につけ、友だちと協力して問題を解決したり、効果的に表現したりするとともに、地域と自国に誇りを持ち他国を尊敬する心を高め、自分のよりよき生き方について考えることができるようにする。

<算数>  
筋道を立てて考える能力を育てるとともに数理的な処理のよさに気づき、生活に活かそうとする態度を育てる。  
<理科>  
自然に親しみ、見通しをもつて観察・実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てるとともに自然の事柄・現象についての理解を図り、科学的な見方や考え方を養う。  
<家庭科>  
衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、家庭生活への関心を高めるとともに日常生活に必要な基礎的な知識と技能を身につけ、家族の一員として生活を工夫しようとする実践的な態度を育てる。  
<道徳>  
各教科・特別活動・総合学習と綿密な連携を図りながら、計画的な発展的な指導によって道徳的価値の自覚を深め、道徳実践力を育成する。  
<特別活動>  
望ましい集団生活を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに、集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。  
<外国語活動>  
外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。

<本校が定める内容>  
人々や社会および自然に主体的に働きかけたり、外国の言葉に触れたり、外国の生活や文化に慣れ親しんだりすることにより、人や社会、自然、異なる言語や文化に関心を持ち、人としてのよりよき生き方を探究していく横断的・総合的な学習

<保護者・地域・教職員の願い>  
基礎的・基本的な力の定着とその活用力及び、思考力・判断力・表現力の育成  
人にかかわり、ものにかかわり、相手のことや自分のことを大切に考えられる子  
地域に対する誇りや愛着をもつことができる子どもの育成

<育てようとする資質や能力及び態度>  
学習方法に関すること  
・問題状況の中から課題を設定し、解決の方法や手順を考え計画を立てる (課題設定力)  
・課題解決の手段を選択し、情報を収集し、事実関係を把握したり事象を比較したりして分析する (課題調査力)  
・相手や目的に応じて、分かりやすくまとめ、表現したり、学習や生活に生かそうとする (表現・評価力)  
自分自身に関すること  
・課題解決に向けて自分で意思決定し、自ら解決に取り組み、生活の中で実践するとともに、自己の将来について考える (自立力)

<他者や社会とのかかわりに関すること>  
・課題解決にあたって他者の意見も受け入れ、他者と協同して取り組むとともに、自己と周りとのかかわりや考えながら地域への貢献についても考える (人間関係力)

<テーマ学習>  
第3学年「食から見える世界」  
(学習活動)日本や世界の国に伝わる食を調べ、食の大切さを考える。  
・1学期～福山、日本各地の郷土料理調べ  
・2学期～世界の料理調べ  
・3学期～今、見直されている日本料理、世界に広がる日本料理調べ  
第4学年「衣文化から学ぼう」  
(学習活動)日本の伝統的衣装や世界の衣文化について知り、自分たちの生活と衣との関係について考える。  
・1学期～日本の衣文化調べ、広島と平和調べ  
・2学期～世界の衣文化調べ  
・3学期～自分たちと衣との関係調べ  
第5学年「みんなが住まいる！ケナフ・住文化から学ぼう」  
(学習活動)ケナフ・住文化から環境問題について調べ、自分たちができることを考える。  
・1学期～ケナフから環境調べ(ケナフの栽培)  
・2学期～日本と世界の住文化比較調べ(ケナフではがき作り)  
・3学期～快適な住まいと環境との関係調べ  
第6学年「世界とつながる大谷谷」  
(学習活動)外国との交流を機会に地域の良さ、自分自身のことについて考え、伝えたいことを伝える方法について考える。  
・1学期～タイとの交流活動(学校紹介、福山紹介)  
・2学期～タイとの交流活動(将来の夢、日本文化)  
・3学期～交流活動を校内、地域に発信

<育てようとする資質や能力及び態度>  
学習方法に関すること  
・問題状況の中から課題を設定し、解決の方法や手順を考え計画を立てる (課題設定力)  
・課題解決の手段を選択し、情報を収集し、事実関係を把握したり事象を比較したりして分析する (課題調査力)  
・相手や目的に応じて、分かりやすくまとめ、表現したり、学習や生活に生かそうとする (表現・評価力)  
自分自身に関すること  
・課題解決に向けて自分で意思決定し、自ら解決に取り組み、生活の中で実践するとともに、自己の将来について考える (自立力)  
他者や社会とのかかわりに関すること  
・課題解決にあたって他者の意見も受け入れ、他者と協同して取り組むとともに、自己と周りとのかかわりや考えながら地域への貢献についても考える (人間関係力)

<特別活動>  
望ましい集団生活を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに、集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。  
<外国語活動>  
外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。

<地域との連携>  
地域公開  
地域人材の活用  
地域行事への参加  
地域施設の利用

<「学びやものの考え方」を育てるための学習過程>  
つかむ～意図的、計画的なはたらきかけによる動機づけ 興味関心のある課題発見  
解決の見通しを持った計画 (課題の設定)  
もとめる～手段の選択 情報の収集 事実の把握、比較・分類・整理による情報分析 (情報の収集、整理・分析)  
ひろげる～相手意識、目的意識を持ったまとめ 相手に応じた伝達方法の工夫 (まとめ・表現)

<中学校との連携>  
研修会への相互参加  
9年間を見通した共通プログラム作成  
情報の共有化  
2中学校区教育懇談会の取組み

<他者と交換し合い、自らの考えや課題が新たに更新される>  
、 、 が繰り返される。

<指導方法>  
・児童の課題意識を連続発展させる支援  
・個に応じた指導の工夫  
・諸感覚を駆使する体験活動の重視  
・協同的な学習活動の充実  
・教科との関連的な指導の重視  
・対話を中心とした個別支援の徹底  
・言語活動による体験の意味の自覚化

<指導体制>  
・企画委員会における校内の連絡調整と支援体制の確立  
・教育研究部を中心とした情報の集積と活用  
・地域教育力の人材バンクへの登録と効果的運用  
・チーム・ティーチングの効果的運用  
・ワークショップ研修の重視  
・担任外の教職員による支援体制の充実  
・余裕教室の整備・充実

<学習の評価>  
・「育てようとする資質や能力及び態度」の評価規準とその具体的な児童の姿の設定に基づいた絶対評価の実施  
・ポートフォリオを活用した評価の充実  
・個人内評価の重視  
・指導と評価の一体化の充実  
・学期末、学年末における指導計画の評価の実施  
・授業分析による学習指導の評価の重視

<学習の評価>  
・「育てようとする資質や能力及び態度」の評価規準とその具体的な児童の姿の設定に基づいた絶対評価の実施  
・ポートフォリオを活用した評価の充実  
・個人内評価の重視  
・指導と評価の一体化の充実  
・学期末、学年末における指導計画の評価の実施  
・授業分析による学習指導の評価の重視

<学習の評価>  
・「育てようとする資質や能力及び態度」の評価規準とその具体的な児童の姿の設定に基づいた絶対評価の実施  
・ポートフォリオを活用した評価の充実  
・個人内評価の重視  
・指導と評価の一体化の充実  
・学期末、学年末における指導計画の評価の実施  
・授業分析による学習指導の評価の重視